

論説 特報

追う | 地域発 | 語る | 問う

「立憲主義の破壊」「明
確な憲法違反」安全保障
閣議決定に全国の大学関係
者が反対の意思を表明してい
る。個別的な権利行使が
戦争につながるという危機
感から教員有志らが声明
を発表し、集会やシンポジ
ウムを開く大学もある。憲議の舞
台が参院に移ったが、原案
を求める声は広がり続けて
いる。(原部 エレン)

明治学院大は「強行採決が迫っ
ている」として6日に声明を発表。
賛同を呼び掛けたのは教員有志15
人先の大戦の反省を色濃く出し
「日本が再びアジア、世界の平和
を脅かす存在となる温床を聞くこ
を看過すわけにはいかない」と誓
いを述べた。

明治大は戦後50年にあたる20年
前、当時の学院長の名で「明治学
院の戦争責任・戦後責任の告白」
と題した声明を公表、今も有志ら
がその精神を引き継いでいる。国
際学部教授の高野生吉さんは「先
の大戦で日本がそうだったよう
に、戦争は被害を及ぼるだけでなく、
攻撃する側にも悪影響がある。
この過ちを繰り返してはならな
い」と力を込める。

9日開校、横浜と都内のキャン
パスで「憲明を語る会」が複数回
開かれ、学生も教員、近隣住民数
十人が民主主義と憲法をテーマに

大学に広がる反対の輪

民主主義や選挙制度など多様な手
上まで教員と学生らが意見を出し
合った明治学院大の「憲明を語る
会」16日、横浜市戸塚区



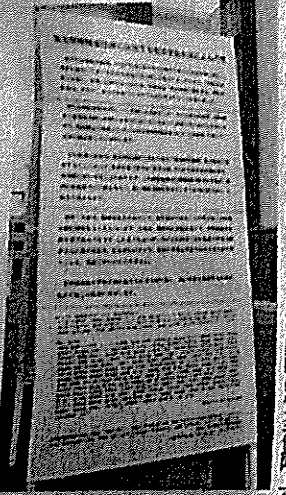
議論している。明学大関係者に限
定した声明の賛同者は約100名に
達し、44人。参院での審議をす
み「自民・公明党内から翻意す
る議員が現れば法案を止めるこ
とは可能」と高野さん。他大学へ
のさらなる広がりに期待し、法案
撤回を望む民意を発信し続けたい
としている。

大きな反響を呼んでいるのが京
都大の署名の声明。戦争の本質を
深く語り掛けるような文書に共
感者が広がり、フェイスブックで
「いいね!」は2万7千件を超え
た。学外の人を含む賛同者は28日
現在で1948人に達している。

2日に教員1人と学生団体で
「自民と平和のための京大有志の
会」を結成。安全法採決だけでなく、
式典で閣議採決も抗議行動を求め
るなど、国立大学への介入を懸念

「京大有志の会」声明全文

戦争は、防衛を名目に始まる。
戦争は、兵器産業に富をもたらす。
戦争は、すぐに制御が効かなくなる。
戦争は、始めるよりも終えるほうが難しい。
戦争は、兵士だけでなく、老人や子どもにも災
いをもたらす。
戦争は、人々の四肢だけでなく、心の中にも深
い傷を負わせる。
精神は、操作の対象物ではない。
生命は、誰かの持ち駒ではない。
海は、基地に押しつぶされてはならない。
空は、戦闘機の爆撃に消されてはならない。
血を流すことを貢献と考える普通の国よりは、
知を生み出すことを誇る特殊な国に生きたい。
学問は、戦争の武器ではない。
学問は、商売の道具ではない。
学問は、権力の下僕ではない。
生きる場所と考える自由を守り、創るために、
私たちはまず、思い上がった権力にくさびを打
ちこまなくてはならない。



に示す政府への抵抗も背景にあつ
た。

草案を書いた人文科学研究所准
教授の藤原辰史さんは「今論じら
れている憲議の原案に返って書い
た当たり前のことを書いておけり、
ここまでの反響は予想していなか
った」と明かす。

「血を流すことを貢献と考える
普通の国よりは、知を生み出すこ
とを誇る特殊な国に生きたい」
とを語る特殊な国に生きたい」

その一節は「広島と長崎の原爆
被害、福島原発事故を踏襲した
地球上稀有な国が普通でどうす
る」との思いから紡いだという。
「法的に致命的な欠陥を持ち、憲
法から導き得るものではない」と
安保法案を厳しく批判している。

13日に開かれた衆院特別委員会
の中央公論会で、村田富郎学長が
「法案は憲法上の問題を背負んで
いるが同時に安全保障上の問題に
も対応している」と答えている。

明治学院大の眞原生
とバスに備わって
いる反対声明のバス
—横浜市戸塚区

時代の正体

安全保障法制考

【教員ら有志が声明を
出している主な大学】

札幌学院大
平和国家としての日本の在り
方を根本から変えるもので、
日本国憲法前文と9条に明確
に違反する。

東京学芸大
安倍政権は集団的自衛権や排
外的な歴史認識によって東
アジアの対立をあおり、市民
を率先して危険にさらしてい
る。

東京工科大
集団的自衛権を認めることは
戦争放棄の原則の転換。近隣
諸国の警戒心を強め、緊張
のない軍拡競争に陥る。

同志社大
現行憲法の枠組みを明白に踏
み越えた法案で、今後の日本
の在り方を大きく左右する。

広島大
歴史への深い反省から、未来
の世界をにぎわす若者たちを敢
断に送り、殺し殺される状況
にさらすことを認めない。

明治学院大
これまでないがしろにされ
続けてきた憲法の平和主義が
さらに無力化される。

立命館大(全学有志)
時の政権が解釈のみで憲法を
空論化し、民主的合意形成
のプロセスをないがしろにす
るなら、立憲主義の破壊で法
治国家の柱(しちゅうえん)
を意味する。

和光大
法案は日本国憲法9条に違反し、
2度と戦争をしないと誓
った憲法の精神を根本から破
壊する。

早稲田大
安倍首相は国内台意よりもア
メリカに対する約束を優先し、
国民の健康と安全を犠牲に
敷設して暴走を繰り返している。

と法案に肯定的な発言をした同志
社大。教職員有志は学長の姿勢に
危機感を覚え、2日後に声明を発
表。「同志社大学が教育理念の一
つの柱に据えてきた国際主義を、
村田教授の個人的見解で一致す
るものではない」と断じた。取り
まごめた社会学部教授の板垣寛太
さんは「10代から80代まで、各世
代の同志社関係者で法案への危機
感を共有している」と話す。

大学独自の訴えがある。学生の
デモ計画に燃発された28日に声明を
出した広島大は「原爆を投下され
た都市の大学として、戦争と平和
に関し人一倍声を上げなくてはな
らない」と(西英通教授)。

教員を養成する東京学芸大は
「教員だけでなく、将来的に彼
らの教を子たちが戦争に巻き込ま
れる危険を拡大する法案に強く反
対する」と由明に盛り込んだ。教
育学部准教授の及川英二郎さん
は、国会で与野党多数を占めるこ
とを背景に政権が批判的に目を向け
ない姿勢を「反立憲主義、反民主
主義的なだけでなく反知性的です
らある」と考える。

学生へのメッセージと併せて6
月に由明を発表した和光大のは
か、2千人以上の賛同者を集めて
いる早稲田大、立命館大、札幌学
院大、東京工科大などの各有志も
声明を出しており、反対の声を上
げ続けることで法案に持ちこたせ
ようとしている。

16日、シンポジウムを開いた横浜国立
大の国際学部教大でも今般、市民
が由明をテーマに、賛同を呼び
かけている。

安全法をめぐっては、学生団
体「SABALDS」や「SALDS」
自治会民主主義のための学生緊急
行動)をはじめ関係者をめぐる動
が全国各都市で展開されており、31
日には都内でSABALDSや「安
全保障閣議採決に反対する学生連
合」などで、9-9-9のデモや街頭演
講活動が行われた。